

里山の昆虫

自然が豊かな里山には多種多様の昆虫が生息しています。昆虫たちは種によって様々なものを利用し、生活しています。

花

花の蜜や花粉や花びらを食べるためにチョウやハナムグリ、ハチなどの昆虫が集まります。コマルハナバチのような送粉者と呼ばれ、受粉を手助けします。



コマルハナバチ



コアオハナムグリ

樹液

樹液を求めてクワガタムシやハチなどの昆虫が集まります。大型種は力で、小型種は隙間に入り込むなど体格を活かして餌場を確保します。



ノコギリクワガタ



オオスズメバチ

倒木・立ち枯れ

交尾・産卵のためにカミキリムシやタマムシが、樹皮下には肉食のヒラタムシ類、菌食のヒラタカメムシ類などがいます。冬期には越冬場所としても利用されます。



クロナガオサムシ



ルリボシカミキリ

葉

葉は餌として、とても多くの昆虫が利用します。オトシブミの仲間は葉を巻いて作った揺籃ようらんに産卵し、中で幼虫が育ちます。



オオムラサキの幼虫



ヒゲナガオトシブミ

◎ 自然豊かな里山のために・・・

自然豊かな里山には、適切な管理が欠かせません。近年、高齢化や過疎化により里山は放棄されつつあります。昆虫を含む動植物たちを通して、里山の“今”を知ることが大切です。